

第1回 大学非常勤講師の会

平成25年3月8日、第1回大学非常勤講師の会が開催された。現在のところ非常勤講師は14名が登録しており、そのうち10名が参加した。

本会は、人材部会企画WG(座長:小野田 祐子 TIS(株)執行役員)の企画により発足した「JISA 会員企業に所属する大学非常勤講師のコミュニティ」である。その目的は、実践的で学生にとって魅力のある大学教育への変革を追求し、将来的に業界がイノベーションを推進する或いはそれを支える人材を獲得できるよう産学連携に拍車を掛けることにある。

小野田座長の司会により、本会は進められた。はじめに、非常勤講師を代表して國井副会長(リコーITソリューションズ(株)取締役会長執行役員)が、「産業界からみた情報技術人材育成について」と題して講演した。國井氏は、日本の情報サービス産業の国際競争力の弱さを指摘し、その解決に向けた大学教育への期待と支援について語り、ほか9名の各非常勤講師から問題提起を引き出し、議論に繋げるための口火を切った。

とくに結論に至ることはなかったが、そこでは、産学連携と教育支援にあたっての自由闊達な議論がなされ、なかには、「イノベーションは企業よりも大学のほうが起きやすい。企業が課題を創り、その解決は大学に任せるほうが効果的」「また、それを継続させるには官を巻き込み補助金を引き出すことが必要」「学生は優秀なので良い仕組みをつくれれば産学連携はうまく行く」といった大学にとってポジティブなものから、「常識的なことを含めて学生が企業のことを知らない」「学生の文章力が落ちていて、論理力が不足している」「日本の学生は、海外の学生のように分野に応じた基本概念を学んでいない」「大学に対して、業界が求める人材像をはっきり要望していない」など、業界の反省点を含むさまざまな意見が出された。

本会は、平成25年度のJISA新体制の下でも継続される予定であり、活動の方向性については、今後コミュニティ自らで決める方針である。

なお、非常勤講師の登録受付は、[JISAホームページ上](#)で随時行っている。数は力であり、このコミュニティに関心のある非常勤講師の方は、ぜひ登録願いたい。

(薦田)